

入村人の教化のため紀州から徳本上人を招いて建てた寺である。ここから折り返して下りは住吉川の川床、清流のみちを歩く。

土砂運搬のダンプ道路として開発された川の両岸の道は整備されて、今は良い散歩道になっている。

住吉川がJRの線路の上を流れている天井川のあたりで再び地上に上がり、区役所裏の水車の説明板のところで12時解散。



清流のみち白鶴美術館付近で

満開のコスモスを愛でながら秋風に頬をなぶらせて歩いた好天の半日だった。

好評であったこと、またグループ“わ”の活動記事もあわせて掲載されました。

このボランティア活動が成功にこぎ着けるまで、事前に幾度も勉強会を重ねられた高田さん(生環5期)をはじめ多くの会員の方々本当にご苦労さまでした。



自立センターひょうごで 茶道のお稽古

国3-兵 吉岡 乃夫子

兵庫パンジーの会有志と、カレッジ在学中で茶道部所属の住本さん(福祉8期) 木邑さん(美工9期)たちと協力してJR兵庫駅南側東部にある「自立センターひょうご」で茶道のお稽古を毎月第1、第3の月曜日に平成11年頃から欠かさず続けております。

対象は施設利用者のうちの希望される方で、もともと自立センターでは色々な手芸のほかクッキーの調理などをも日常のプログラムに取り入れて、情操面の啓発に努めておられますが、私たちもお稽古を通して豊かな心と、礼儀を学ぶ心構えのお手伝いになればと思っております。

当初は薄茶の前に出される和菓子だけを楽しみに参加の方もあったようですが、最近では熱心にお稽古される方も増え、私たちも大変心強く、やり甲斐を感じて続けています。

左から木邑さん、住本さん、吉岡さん



中央区会

マジックで施設を慰問

生6-中 中川 安庸

中央区在住の私たち「KSCマジック同好会」OBとカレッジ在学中の同好会有志、森田さん(国際8期)たちと機会があれば区内の施設などを訪問して日頃の修練の成果を施設利用の方々に披露して喜ばれている。



手品の豆知識

手品の起源は紀元前二千数百年前頃、エジプトの洞窟壁画に「三つのカップ」と「三個のボール」を使ってカップの中でボールを消したり現したり、またカップの底からボールが抜けたりする手品が描かれているのが、始りであろうと考古学者が云っている。

日本へは奈良時代の仏教伝来と共に伝えられ、江戸時代に歌舞伎の舞台などを通じて見世物として大衆化され現代に至っている。

今回は昨12月24日(水)クリスマスの飾りで、華やいた雰囲気の中、ハット神戸6号館に隣接した脇浜高齢者介護センターを訪問した。軽妙なバックミュージックに乗せて、次々と演じる私たちの目新しいマジックに会場は歓声と拍手にあふれ、施設利用者の方々は大喜びであった。

40分程の短い時間ではあったがこのたびも訪問して良かった、これからもこの活動をできるだけ継続して行こうと充実感に包まれながら帰路についた。



兵庫区会

兵庫津の道 観光ボランティア

福1-兵 三島 重春

兵庫パンジーの会ではかねてより、「JR兵庫駅南地区での観光ボランティア」を組織的に行うことを討議してきましたが、昨年10月に兵庫区役所から3件の依頼があり4・5期生が中心になって、そのうちの2件に対応しました。

10月18日に実施された兵庫区とJR西日本共催のイベント「兵庫区歴史花回道ウォーク」参加者と、10月28日に来神した静岡県地区学校関係者団体に兵庫運河や津の道周辺史跡を案内して永年語り継がれた伝説や兵庫の歴史などを説明しました。

当日の活動内容は「区民広報紙ひょうご」12月号にも紹介され、参加者からはわかりやすい説明で大変